

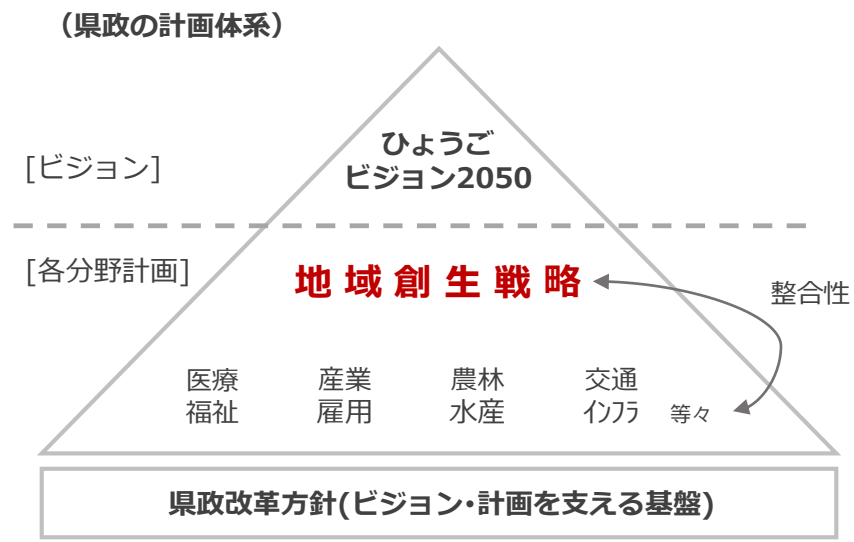
『第三期兵庫県地域創生戦略』の策定について

1 趣旨

- 「兵庫県地域創生戦略」は、人口が減少しても地域の活力を維持し、将来への希望を持てる「地域創生」を実現する具体的な対策プログラムとして、5年を一区切りとして策定
- 今年度が第二期戦略の最終年度にあたることから、これまでの評価検証と新たな時代潮流を踏まえ、必要な見直しを行う

2 戦略の基本事項

- 位置づけ** ▶ まち・ひと・しごと創生法に基づく県版総合戦略
▶ 「兵庫県地域創生条例」に基づく総合戦略（議決が必要な計画）
- 計画期間** ▶ 2025～2029（5年間）
（毎年度、アクションプランや実施状況報告を策定し、年ごとの方向性と達成状況を管理）



(参考) 第二期 地域創生戦略の目標・方針等の概要

1 地域の元気づくり

重点目標①
幅広い産業が元気な兵庫をつくる

重点目標②
内外との交流が活力を生む兵庫をつくる

重点目標③
豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる

2 社会増対策

重点目標④
自分らしく働ける兵庫をつくる

3 自然増対策（子ども・子育て）

重点目標⑤
結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる

4 自然増対策（健康長寿）

重点目標⑥
生涯元気に活躍できる兵庫をつくる

(後期2カ年の重点取組方針)

共通基盤 **GROWTH DRIVER**
本県の持続的な成長、発展を牽引するための、全ての取組みに通じる共通基盤

SDGs 公民連携 DX



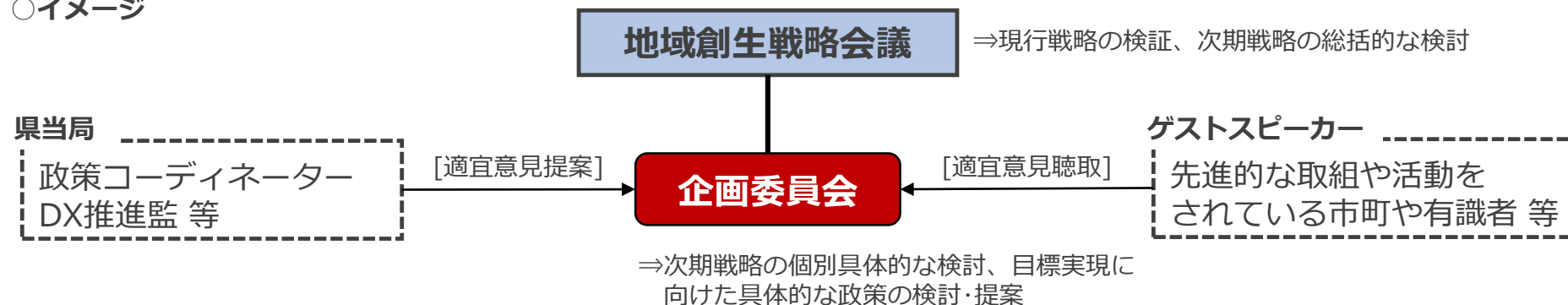
3つの柱と主な取組		
Frontier ポストコロナ社会を先導	Return 地方回帰の流れを捉える	Future 将来世代への応援を強化する
<ul style="list-style-type: none"> ・GXの加速 ・万博等を見据えた交流圏の形成 ・新技術や多様なチカラによる地域課題解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革先進県の実現 ・移住施策の強化 ・シビックプライドの醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚・出産・子育て支援の充実 ・課題を抱える人への支援強化 ・教育への投資強化

『第三期兵庫県地域創生戦略』の策定について

3 策定の体制

- 円滑な意見交換や具体的な政策提案の議論を行うため、地域創生戦略会議の下に各分野でご活躍されている**実務者を中心**とした「**企画委員会**」を設置

○イメージ



4 スケジュール（予定）

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～3月	4月
戦略会議①	企画委① 企画委② 企画委③		戦略会議②	企画委④		戦略会議③	パブリックコメント 県議会上程	第三期戦略 始動
【6/21実施】	【7/11実施】						アクションプラン 作成	
<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス 方向性・論点の意見交換等 	<ul style="list-style-type: none"> 次期戦略の柱立て・目標等の設定 目標達成のための具体事業提案 効果的な指標体系への見直し等 		<ul style="list-style-type: none"> 次期戦略の概要案及び指標案 具体的な事業案等 	<ul style="list-style-type: none"> 次期戦略の全体案 戦略の実効的な運用方法 効果的なPR方法等 		<ul style="list-style-type: none"> 次期戦略の全体案（パブコメ案決定） 		

(参考) 第1回地域創生戦略会議における主な発言

戦略 全体的なこと

- 戦略の策定にあわせて、**未来を見据えた、住みやすい、幸せな県政を支える**、他県にはない政策を打ち出して欲しい
- 農村では担い手の減少や収益の悪化等で危機的な状態。ぎりぎりまで頑張っているが、このままでは暮らしだけでなく、地域の風景も守り切れない。**産業としての農林水産業の振興だけではなく、農村での暮らしや生活にまで光をあてた**、そこで暮らす人々が勇気づけられるような戦略を検討して欲しい
- 兵庫は広く、地域によって課題が異なるので、それぞれの**エリアに応じたメリハリのある政策**の展開を検討して欲しい
- 情報発信の視点で考えた時に、一般的には個別の取組から見られて、全体は最後になる。よって**発信力のある個別の具体的な政策の打ち出しが重要**

基本的な考え方や7つの論点について

- 「自然との共生」や「参画と協働」といった県民にもわかりやすい、大きなキーワードが必要ではないか
- 7つの論点はそれぞれで独立しているというより、それぞれに関連している、**その関係性が重要**
- やや県内向けの視点に偏っている印象。先日、東京圏の20代若者、二人に一人が移住に関心があるという報道もあり、**県外や海外から、どのよう**に見られているかの**観点も必要**

個別の項目について

- 個が輝く政策も重要であるが、それを繋ぐ場・地域のコミュニティも重要。**連携や共創が生まれる仕組みづくり**が必要になってくる
- 土地の有効利活用など、人口増加時代にできなかったことにも目を向けるべき
- 若い世代への子育て支援は強化されつつあるが、若者に特化した支援はまだ不足している印象
- 地域の人々が主役となって、地域資源を活用した色々な体験ができる観光が求められている。主役となる地域の人々に責任を持たせることで**シックプライドの醸成**を。そこで行政として何が出来るか。
- 外から見ると、五国にはポテンシャルがあり、**一つにまとめられないところが兵庫のよいところ**。
- これまでの日本では一般的には普及していなかったが、人を動かすのに効果がありそうな取組(ex サバティカル休暇等)を思い切って検討することも必要

その他意見

- 地方にインタビュー調査でいくと、元気な人が増えている、若い人が変わってきていると感じて、**この10年間で地域創生が進んでいる印象**。一方で、広域的なアンケート調査となると**都市部と地方では格差が大きい**。この弱っている地方の声を汲み取り、**地域創生の恩恵を受けられていない人々に新しい価値観や新しい経済をいかに届けていけるか**が大切
- 新しい動きと古い価値観は衝突しがち。そこにインクルーシブという概念が大事になってくる。

地域創生戦略会議 企画委員会の運営方針

1 企画委員会に求めること

- ・地域創生戦略会議から提案された論点案※を踏まえ、**次期戦略での目指すべき姿(目標)**や、そのための**方向性(柱立て)**の構想、更には**具体的な施策案の提案**などを頂きたい(1～3回目:7～9月)
- ・次期戦略の骨格案を踏まえ、**全体案への肉付け**、**戦略の実効的な運用方法**や**効果的なPR方法**のご意見など頂きたい(4回目:10～11月頃)

※戦略会議から提案された論点案

- ①ひとの動き ②まちの動き ③社会の動き
- ④経済の動き ⑤寛容性 ⑥地域の固有性
- ⑦地域への満足度

⇒これらの論点を切口として、地域創生の実現に必要なことについて議論

2 スケジュール・進め方の概要

時期	開催概要
7月	[1回目] 7月11日(木) ⇒基本的な考え方や論点を踏まえ自由に意見交換
8月	[2回目] 8月6日(火) ⇒1回目議論を踏まえ事務局で整理した複数の方向性について議論、主要な具体施策の検討等
9月	[3回目] 8月下旬～9月上旬頃 ⇒骨格案の検討、目標や指標の設定等
10月	[4回目] 10月～11月頃 ⇒主に骨格案への肉付け、戦略の目標、柱立て等について議論
11月～12月	地域創生戦略会議 ⇒次期戦略の全体案など

【事務局出席者(本席)】

政策コーディネーター(2名)、小橋理事、守本部長、高崎次長、計画課

○1回目のタイムスケジュール案(3時間程度)

- 15分程度：各委員自己紹介、事務局から全体ガイダンス、資料説明等
- 30分程度：①基本的な考え方・7つの論点について意見交換
- 40分程度：②委員プレゼン※+論点等と絡めた意見交換①(2テーマ)
- 10分程度：休憩 ※委員自身の取組をご紹介頂く(10分/人程度)。初回は3名の予定
- 20分程度：②委員プレゼン+論点等と絡めた意見交換②(1テーマ)
- 60分程度：③上記の他、次期戦略で取り組むべき施策等について意見交換
- 5分程度：次回開催の説明 等⇒終了

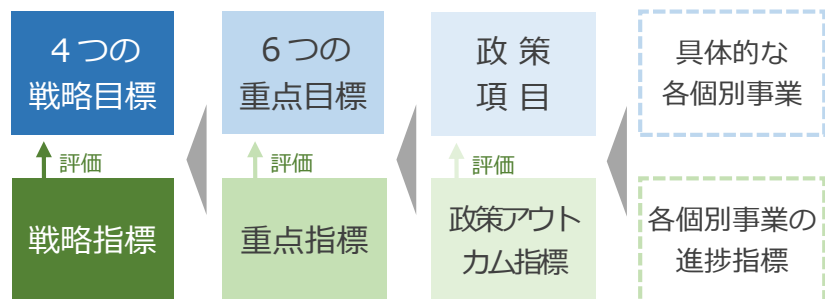
3 運営関係

- ・**原則対面**開催(オンライン参加も可能)
- ・1回あたり3時間程度の予定
- ・原則、当日の1週間前までに、当日資料の送付や事前説明を実施
- ・左記予定とは別に、報告事項のみ等の場合、オンライン会議を開催させて頂く可能性もあります
- ・左記予定とは別に、**特別テーマに基づくゲストスピーカーを招聘**し、講演・意見交換会の開催も検討しています(参加は希望制)

(参考) 第二期兵庫県地域創生戦略の実施状況・概要

1 評価体系 戦略の枠組を踏まえた総合的な評価を行うため、段階に応じて目標・指標を設定

○イメージ



○達成状況：「A」100%以上、「B」90～100%未満、「C」70～90%未満、「D」70%未満

指標区分	A	B	C	D	未判明	合計
戦略指標	4項目 44.4%	2項目 22.2%	1項目 11.1%	1項目 11.1%	1項目 11.1%	9項目
重点指標	6項目 19.4%	7項目 22.6%	4項目 12.9%	3項目 9.7%	11項目 35.5%	31項目
政策アウトカム指標	22項目 27.8%	14項目 17.7%	14項目 17.7%	8項目 10.1%	21項目 26.6%	79項目
合計	32項目 26.9%	23項目 19.3%	19項目 16.0%	12項目 10.1%	33項目 27.7%	119項目

⇒ 全体の約半数(46.2%)の指標で90%以上達成 ※R4年度実施状況報告ベース

2 戦略目標の達成状況

戦略目標	戦略指標	R1 (戦略開始時)	R4 上段[目標] 下段 実績 【達成状況】	評価概要
Ⅰ 地域の 元気づくり	①県民一人あたり県内GDPの伸び (H25比で国を上回る伸びを維持)	実質 国104.2<県106.1 名目 国109.4<県110.4	[国を上回る伸びの維持] 実質 国105.1<県110.3【A】 名目 国111.8>県110.4【B】	①県は国に比べて製造業が占める割合が高く、当該分野でコロナ禍からの生産回復等の傾向があることから、「実質」において目標を上回る状況 ②地域の魅力向上や安全安心の確保、教育・福祉分野での地道な取組等が、一定目標達成に貢献
	②住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合	77.9%	[前年度(75.9%)を上回る] 77.8%【A】	
Ⅱ 社会増対策	③日本人の転入超過数 (日本人社会減ゼロ)	▲5,561人	[▲1,068人] ▲5,990人【D】	③④やや改善傾向にありつつも(R3:▲6,220人)、転出超過数は依然高水準で推移しており、特に就職等に伴う20歳代の転出が顕著 ⑤コロナ禍による入国制限の緩和、国による外国人労働者受入制度の促進等により、外国人県民は増加傾向
	④若者定着率93.0%	92.0%	[92.6%] 91.4%【B】	
	⑤外国人の増加数(累計) (5年間で25,000人の増加)	3,933人/年 (H27～H30平均/単年)	[15,000人] 17,080人【A】	
Ⅲ 自然増対策 (子ども・子育て)	⑥合計特殊出生率 (R1=1.41を維持)	1.41	[1.41] 1.31【B】	⑥未婚率の上昇等によりH28:1.49をピークに、H29から6年連続で低下 ⑦コロナ禍が依然影響しており、減少傾向
	⑦婚姻件数	25,109件	[26,000件] 20,844件【C】	
Ⅳ 自然増対策 (健康長寿)	⑧平均寿命と健康寿命の差	男性 1.48未満 女性 3.20未満	※参考R2 男性 1.44 女性 3.16	⑧平均寿命・健康寿命ともに増進傾向であるが、両者の差(日常生活に制限のある期間)はやや拡大傾向 ⑨ほぼ同水準で移行していたが、R4は大きく増進(R3:63.0%)
	⑨運動を継続している者	62.7%	[64.4%] 67.8%【A】	